

ラジオNIKKEI 月曜日16時～

『キラメキの発想』 資料

2024年10月28日放送分

番組では個人投資家・トレーダー向けに相場を大きく動かしそうな内部・外部要因について、OPトレーダーの視点から、さまざまなファンダメンタル指標やテクニカル指標などを用いて分析していきます。なお、主宰しているオプション倶楽部の詳細については倶楽部サイト「optionclub.net」をご覧ください。「OP売坊戦略」で検索！



OP売坊



24年12月限SQまでの注目イベント (P.2)

<米国>

11月01日：雇用統計 (10月分)

11月05日：米大統領選挙

11月07日：FRB政策金利

11月13日：消費者物価指数 (10月分)

11月14日：生産者物価指数 (10月分)

12月06日：雇用統計 (11月分)

12月11日：消費者物価指数 (11月分)

12月12日：生産者物価指数 (11月分)

<欧州・英国>

11月07日：英国政策金利

12月12日：欧州政策金利

<日本>

10月31日：日銀金融政策決定会合

11月05日：東証新システム (大引けが15時半に)

11月29日：消費者物価指数 (東京11月分)

12月13日：12月限SQ日

日経平均は上昇基調にありますが、乱高下を続けています。衆院選や米大統領選の結果で大きく暴騰もしくは暴落するかもしれません



2024年10月

21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2024年11月

				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

2024年12月

						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15

日経225ミニOPのSQ日
日経225ミニ/マイクロ先物と月次/ミニOPのSQ日
メジャー-SQ
日経225ラージ/ミニ/マイクロ先物と月次/ミニOPのSQ日
祝日取引実施日

◎ 11月4日はJPX現物売買システムの更新移行作業が予定されているため祝日取引が実施されません。

● 第二金曜日 (原則) は日経225OP期近限月の未決済建玉が清算されるSQ日のため、OPトレーダーにとって区切りの日です。















● OP売坊公式X「@OP49431790」でニュースについてつぶやいています。

[注] 予定は予告なく変更される場合があります。
出所) ブルームバーグ、ロイターなどから筆者作成



OP売坊のグレイ・リノ (P.3)

サイは普段おとなしいが
怒ると、とっても怖いのだ

-  **新世界秩序・ゲームチェンジ**
-  気候変動による食料価格高騰・食料危機
-  地政学的リスクによる原油・商品価格高騰
-  ウクライナ含む世界の難民増 (2023年5月: 1.1億人)
-  日米欧中の経済政策不確実性上昇
-  日米欧政府の債務増・増税・国債格付引き下げ
-  米国の不動産バブル崩壊と金融危機
-  **米国のインフレ再加速**
-  **基軸通貨「米ドル」の没落**
-  中国の不動産バブル崩壊・経済崩壊
-  日本の2024・25・30・40年問題と人口減の加速
-  日銀の金融政策と財務省の対応
-  日本企業と政治の信頼性低下
-  **バフェット指数 (株式時価総額÷名目GDP) の異常値**
- 米国: 200.3 (10月24日概算) ← 202.5 (10月18日概算)**
- 日本: 163.5 (10月24日概算) ← 178.0 (3月21日概算)**



米国株のバフェット指数が概算で200を超えてきました。米国株が米国経済の2倍で評価されていることとなります。過去の水準からすれば、かなりの異常値です。「トランプラリー」が始まっているのでしょうか。ただし、AI化の進展で生産性が格段に上がることを先取りしている可能性もあり得ます



など

グレイ・リノ (灰色のサイ) とは、高い確率で大きな問題を引き起こすと考えられるにも関わらず、軽視されている事象のこと。それが**起これば大きな値幅が出る**ため、OPトレーダーに重要となる。特に**PUT買い**を仕掛けられる可能性や、破産もあり得る**PUT売り**を避けられる可能性が高くなる。



米国のインフレ再燃懸念が利下げに影響するか？ (P.4)

米クリーブランド連銀の10月分CPI（消費者物価指数）前年同月比予想

INFLATION, YEAR-OVER-YEAR PERCENT CHANGE

Month	CPI	Core CPI	PCE	Core PCE	Updated
October 2024	2.57	3.34	2.20	2.71	10/25
September 2024			2.06	2.62	10/25

出所) クリーブランド連銀 (2024年10月25日現在)

2024年末・米政策金利の市場予想

CME FEDWATCH TOOL - CONDITIONAL MEETING PROBABILITIES										
MEETING DATE	250-275	275-300	300-325	325-350	350-375	375-400	400-425	425-450	450-475	475-500
2024/11/07					0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	95.4%	4.6%
2024/12/18	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.3%	23.8%	1.0%
2025/01/29	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	49.1%	41.7%	8.9%	0.3%
2025/03/19	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	36.8%	43.5%	17.1%	2.5%	0.1%
2025/05/07	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	21.9%	40.8%	27.8%	8.4%	1.1%	0.0%
2025/06/18	0.0%	0.0%	0.0%	10.6%	31.1%	34.5%	18.4%	4.8%	0.6%	0.0%
2025/07/30	0.0%	0.0%	2.9%	16.1%	32.0%	30.2%	14.7%	3.7%	0.4%	0.0%
2025/09/17	0.0%	1.1%	7.8%	22.1%	31.3%	24.4%	10.6%	2.5%	0.3%	0.0%
2025/10/29	0.3%	2.9%	11.6%	24.5%	29.5%	20.7%	8.4%	1.9%	0.2%	0.0%
2025/12/10	0.7%	4.4%	13.9%	25.4%	27.9%	18.5%	7.3%	1.6%	0.2%	0.0%

出所) FEDウォッチ

ク連銀は10月分の米CPIが前年比2.57%上昇に反発すると予想しています（9月分は2.4%上昇）

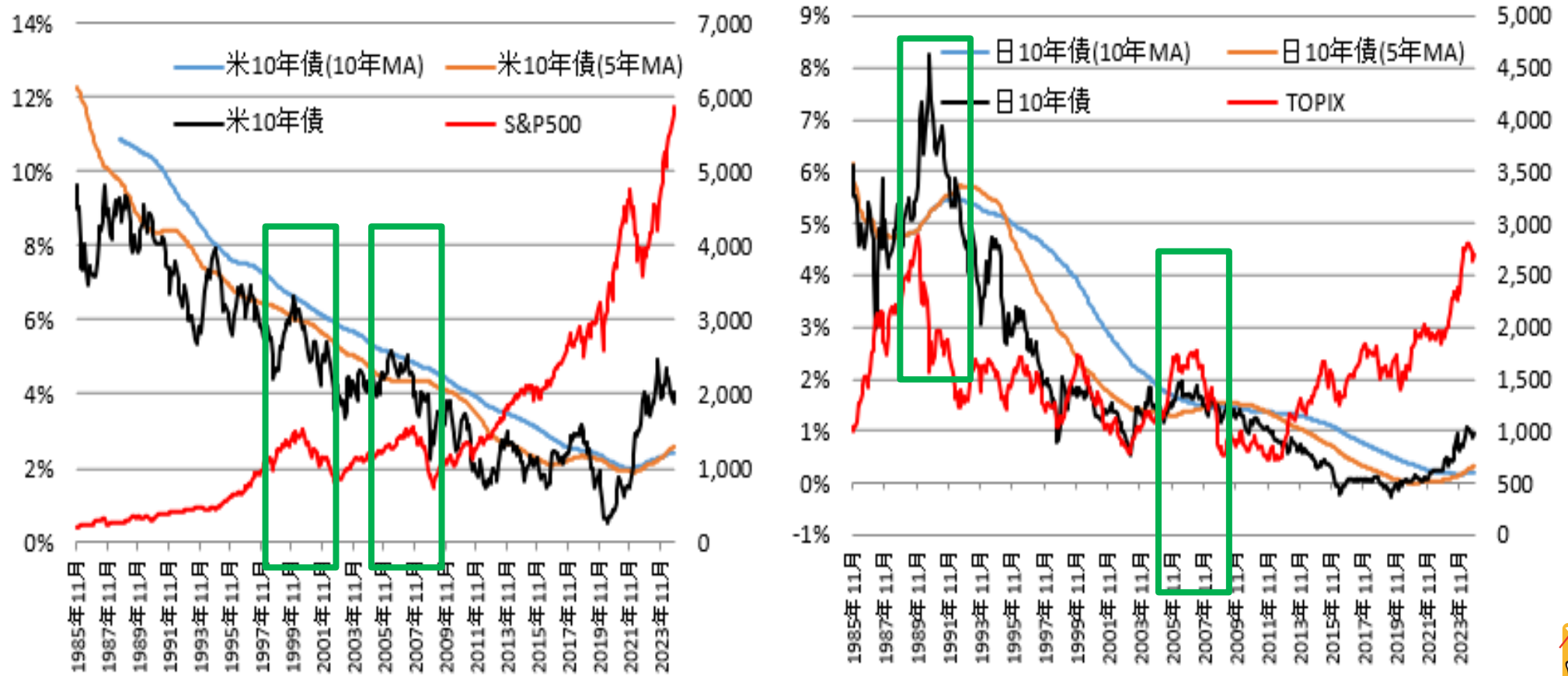
FRB（米連邦準備理事会）は9月ドットチャートで政策金利（FFレート、現在4.875%）が年末には4.375%に引き下げられるとの見通しを示しました。一方、FEDウォッチによる市場予想も年末4.375%です。ただし、25年末には現水準から1.50%もの利下げを予期しており、それは楽観的過ぎると思っています





10年債利回りの大幅低下は株価下落の予兆（P.5）

米国（左チャート）と日本（右チャート）の10年物国債利回り（10年平均・5年平均）と株価の推移（月足）



過去に10年債利回り（長期金利）が大幅に低下した局面では、大きな株価調整がともなっています。金利低下＝株高と信じていると、大きなしっぺ返しのリスクが高くなります。それでも金利を低下させないといけない状況は、米国の景気が、かなり悪くなっているということでしょう

出所) ブルームバーグより筆者作成 (1985年11月～)

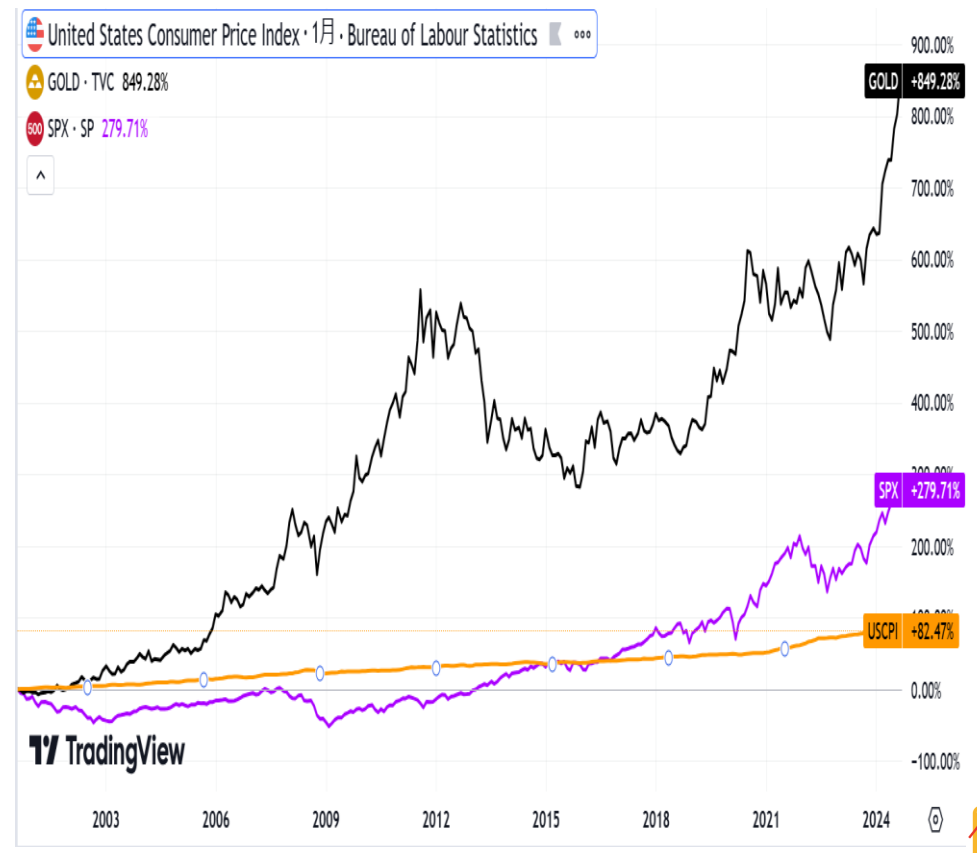


米ドルでさえ価値を下げている (P.6)

2001年1月基準の米ドル金指数とNY金価格推移



2001年1月基準のNY金、S&P500、米CPI推移



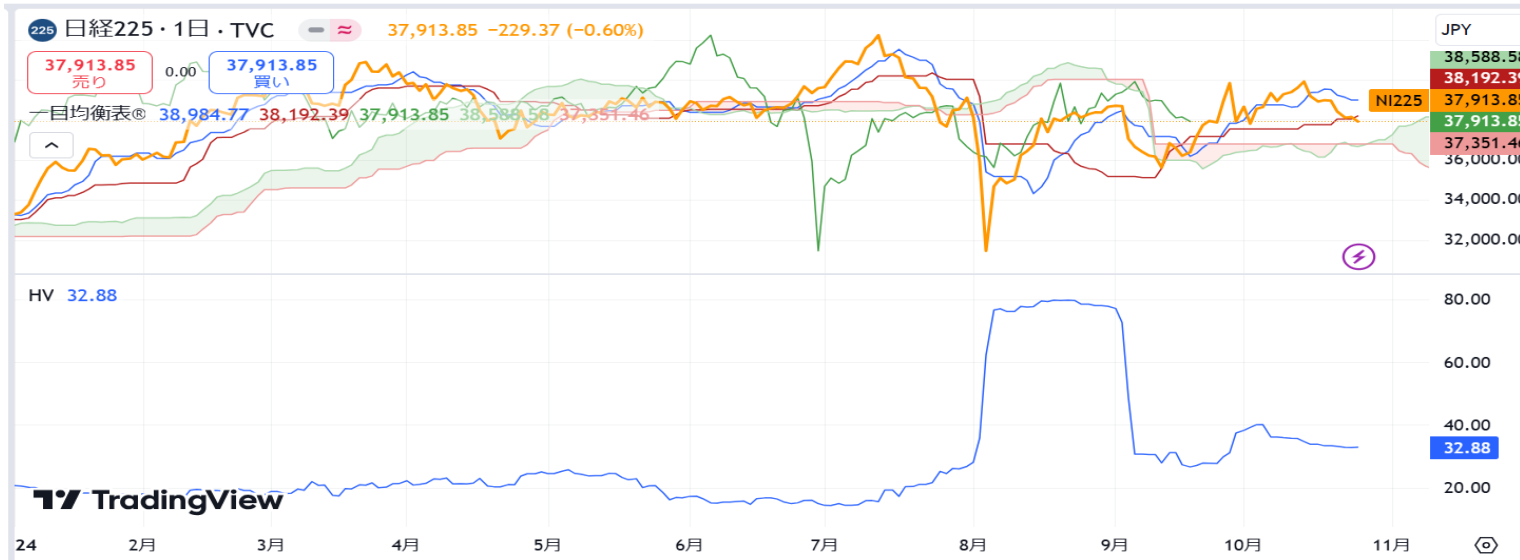
左上段のチャートは金価格の逆数で、例えば1ドルで買える金の量が基準点からどれだけ減っているかを%でみたものです。右チャートからは米国株もCPIの上昇以上に上げていますが、金のほうが好成績だった分かります。ただし、基準日を変えると、違った見え方になる可能性もあります





ボラティリティは貴重な情報源 (P.7)

日経平均とそのHV推移 (2024年1月~10月25日)



10年物日本国債利回りとそのHV推移 (2024年1月~10月25日)



HV (ヒストリカル・ボラティリティ) は対象市場の価格から計算した変動性です。過去 (計算期間) の値動きから見た相場の「荒れ具合」を示します。それぞれの金融商品のボラティリティに特徴があり、関連性もあります。HV分析についての詳細はOPCTV『[ヒストリカルボラティリティで見極める相場の荒れ具合](#)』をご参照ください



各金融商品のボラティリティに違ったパターンがある (P.8)

NYダウとそのHV推移 (2024年1月~10月25日)



ドル円とそのHV推移 (2024年1月~10月25日)



10年物米国債利回りとそのHV推移 (24年1月~10月25日)



NY金とそのHV推移 (2024年1月~10月25日)



出所) TradingViewにて筆者作成 (2024年10月25日現在)



AI時代の新たな長期的運用の着眼点 (P.9)

AI（人工知能）の発展等によって「ゲームのルール」が変わっていく（ゲームチェンジャー）

意識している大きなポイント

- ◎ 昔の常識、今の非常識
- ◎ 価値観の変化（所有から利用価値へ）

そこから導き出される資産運用の着眼点の例

☆ **世界人口と食料・エネルギー供給問題**

ゼロサム → 世界経済が成長しなくなると、その利益を各国で取り合うことに

☆ **デジタル通貨**

管理社会 → 不動産や金現物などを所有することがリスク回避に

☆ **実物金融資産の重要性（紙の金融資産の価値低下）**

紙幣、債券、株式、金のETF（上場投信）も紙の金融資産

☆ **長期国際分散投資は受難の時代へ**

世界同時株安となるとリスクを回避できないかも

☆ **勝ち組と負け組の格差の拡大**

個人の間でも、企業の間でも、国の間でも、格差の拡大が起こり得る

☆ **この企業がないと困る物や企業への投資**

例えばエヌビディアのGPU（AI半導体ユニット）がないとグラフィックボードがニーズを満たせない

各国間の格差で考えると、強い通貨、相対的に強い株式市場への投資が必要となります。特に株価がバブルの時代では重要な投資法でしょう。A国株買い+B国株売りなどでの対応です





OPを使った売坊流ポートフォリオ例 (P.10)

OPとの組み合わせを意識した分散運用

			期待収益率	配分例	ポートフォリオの期待収益率	
①	現金	+	日経225OP ^注	10%	20%	2.0%
②	短期米国債	+	FX-OP	7%	20%	1.4%
③	貴金属	+	商品ETF-OP	7%	10%	0.7%
④	実物資産	+	かぶオプ	7%	20%	1.4%
⑤	LS	+	米国株OP	15%	30%	4.5%
合計					100%	10.0%

【注】日経225OPは場合によっては指数型ETF（1321など）の「かぶオプ」で代用できます

米国株OP戦略で取り上げた、ある低位株の終値とインプライド・ボラティリティの推移



出所) Optionisticsより筆者作成 (2023年2月末~2024年10月25日)



多くの分散運用戦略でOPを使うことで、収益の安定性を図っていきます。①の「現金」には換金性の高い金融商品を含みます。また②の「短期米国債」にはFXも入るでしょう。⑤の「LS」は相対的な収益率の差を狙った商品間・市場間のロング=ショート戦略です

24年10月24日現在、米国株OP対象銘柄をfinvizで検索すると5584件もあります



OP売坊が実践している主な戦略分野（P.11）

1

日経225OP基本戦略

225CALL売りを主戦略にグreek（リスク指標）を使わずに、安全重視のトレードで毎月コツコツと安定的な収益が出せる「運用者」になることが目標です。

2

日経225OP応用戦略

相場観に基づいた組み合わせ戦略でOPトレードの練度を高めます。OPと証拠金の特性を理解した後は、OPの奥深さと醍醐味を楽しめる達人になることが目標です。

3

米国株OP戦略

現物株・ETFの特性を生かしたホイール戦略を中心に戦略を中心に、証拠金の目途が日経225OPに比べてつきやすい米国株OPで運用の幅を広げることが目標です。

4

FX-OP戦略

スワップポイントの優位性を生かしたカバード戦略を中心に、大局的・局所的に運用収益の改善を図れるような思考を磨いていくことが目標です。また、その他の戦略への選択肢も広めていきます。

5

その他

ミニ先物・マイクロ先物を利用した商品間戦略やCFDを利用した市場間戦略など、市場分析の結果からLS（ロング＝ショート）戦略の機会を見出せるようになることが目標です。

究極の目標は分散運用

- ☆ 銘柄分散
- ☆ 時間分散
- ☆ 戦略分散

でリスクを抑えながら、
より高いシャープレシオを目指すこと

例【FX-OP戦略編】

- 第1回 ターゲット買い戦略
- 第2回 カバードCALL戦略
- 第3回 ゼロコストOP戦略
- 第4回 ストラングル売り戦略
- 第5回 ドル円の戦略例

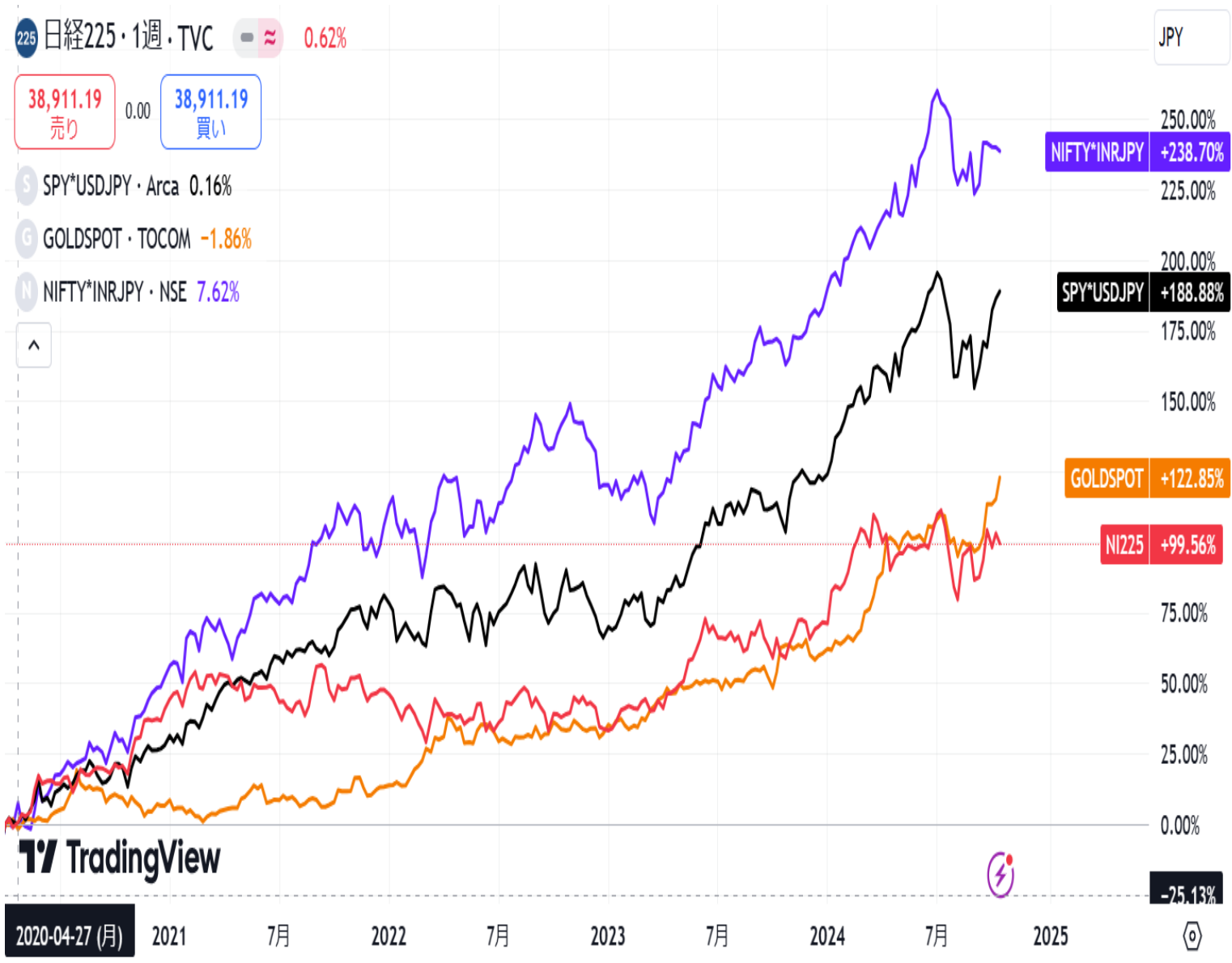
FX-OPは証拠金の変動が相対的に小さく、計算式が単純で予見しやすいことが最大のメリットでしょう。また、決済方式も受渡と差金を選べますので、資金管理が、かなり楽です





日経平均よりも効率的だった金融商品は (P.12)

円建てインドNIFTY、円建てS&P500、東京金、日経平均の2020年4月末からの成績比較



LS戦略の一案です。日経平均も上げていますが、それ以上に上げている株価指数もあるわけです。

短期的には、インド株と米国株が日本株に比べて伸びすぎているタイミングもあるでしょう。しかし、長期的には、やはり潜在成長率などマクロ的観点の分析が効くと考えています



FXのLS戦略 (P.13)

米ドル円のレートと移動平均およびその乖離率



USDJPY	
10月25日	152.298
移動平均	149.832
乖離率	1.65%
最大値	12.09%
第1四分位	2.02%
平均値	0.22%
中央値	0.13%
第3四分位	-1.81%
最小値	-13.6%
標準偏差(全)	3.53%
標準偏差(短期)	4.01%
サンプル数	4,481

ノルウェークローネ/スウェーデンクローナのレートと移動平均およびその乖離率



NOKSEK	
10月25日	0.96799
移動平均	0.973
乖離率	-0.52%
最大値	7.40%
第1四分位	1.27%
平均値	-0.33%
中央値	-0.25%
第3四分位	-1.87%
最小値	-14.4%
標準偏差(全)	2.55%
標準偏差(短期)	0.86%
サンプル数	1,291



通貨の交換比率も考え方によってはLS戦略です。しかし、そこにも安定的なものや傾向が出る通貨ペアがあります。ここからFXとFX-OPを使った戦略を構築していきます

NOKSEK（ノックセック=ノルウェークローネ/スウェーデンクローナ）は両国の経済環境が比較的似ており、安定的に推移しています

最後までご清聴、誠にありがとうございました。

OP売坊ブログ『実践オプション教室』

<https://www.jissennkop.blog.fc2.com>

OP売坊公式X『@OP49431790』

<https://x.com/OP49431790>

Copyright © 2019-2024 OP売坊 / Pan Rolling Inc.

All rights reserved. This report is for authorized recipients only and not for public distribution.

免責事項

- オプション倶楽部TV（以下「本動画」）で使用した図表・数値などは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。
- 本動画に掲載された情報・図表・資料は、あくまで金融知識の向上と情報提供を目的としたものです。証券など金融商品の売り買いを提案・勧誘するためのものとして、また証券など金融商品について助言・推奨するものとして、利用・解釈しないでください。
- 本動画は一般向けに編集されています。特定の投資目的・特定の投資環境・特定の投資家を一切考慮していません。事前に専門家の適切な助言を受けるべきですし、最終的な投資判断は、個々人が個々の状況を考慮して、自らの責任で下すようにしてください。
- 本動画に基づく行為の結果、発生した障害・損失などについて講師およびパンローリング社は一切の責任を負いません。
- 本動画に記載されたURLなどは予告なく変更される場合があります。
- 本動画に記載されている会社名・製品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。



売坊流OPトレード入門セミナー

11月23日（土）10時～（オンライン開催）

不透明な時代、OPで運用の幅を広げてみたい方のために

🎁特典1 受講前に『売坊流OPトレード実践Q&A』を進呈!!

🎁特典2 受講後に『入門テキスト』を進呈!!

講演内容（予定）

- 1. 日経225CALL売り戦略の基本原則**
なぜOPは「売り」が優位なのか
なぜ225OPは「CALL売り」が優位なのか
なぜ利益よりも確率なのか
- 2. 米国株OPとFX-OPの入門戦略**
米国株ホイール戦略
FXカバード戦略
質疑応答

*Find Your
Options!*



早期割引中!!

詳細は <https://www.tradersshop.com/bin/showprod?c=2011462500005>

オプション倶楽部 検索



一緒に資産運用の達人を目指しませんか？

12月開講の第11回会員20名様限定募集

充実の180日間!!

(2024年12月~2025年5月末)

米国株OP戦略やFX-OP戦略なども紹介

Find Your Options!

<実践を支える7つのコンテンツ>

- ① 学習プログラム (動画: 全9編76回)
- ② 週次レポート (日米市場分析・今週の戦略など)
- ③ 月次セミナー (オンライン生配信とオンデマンド配信)
- ④ アラートメール (暴騰・暴落注意報など)
- ⑤ 個別質問掲示板 (スレッド形式で過去の質疑応答も閲覧可)
- ⑥ リスク管理エクセルシート (225OP用・米国株OP用・FX-OP用)
- ⑦ 入門テキスト (PDF: 索引付き)

99%の確率で年率15%の収益を安定的に稼ぎながらOPTレードの本質会得を目的としています。成功へのカギは確率統計とリスク管理だけ!



詳細は <https://www.tradersshop.com/bin/showprod?c=2011462600002>

オプション倶楽部

検索



売坊先生のYouTube動画を何倍にも楽しめる

解説資料の入手リンクや補足Q&A記事などを配信しています！



- 日米**“実質”**利回り差とドル円の相関が高いのは、なぜですか？
 - 裁定取引の**“手口”**から、どのようなことがみえてくるのですか？
 - 日本銀行に**“暗黒の水曜日”**が起こり得るのは、なぜですか？
 - 米国が陥っている**“政策金利のジレンマ”**とは、何ですか？
 - 個別株を安く買いたいなら**“PUT売り”**が有効なのは、なぜですか？
- ……など



登録はオプション倶楽部のポータルサイト
<https://www.optionclub.net/>
でメールアドレスを入力するだけ!!

お気軽にご登録ください！



オプション倶楽部 検索



水曜22時から YouTube で配信中!!

3つの視点で日本株・米国株・為替など市場を大きく揺るがしそうな材料を分析します

第1週目



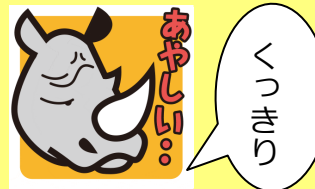
政治経済
イベント分析

第2週目



グレイ・リノ
分析

第3週目



異常値分析

第4週目



ワンポイント
解説

※祝日や暦などで配信週が変更される場合があります。

ラジオNIKKEI月曜14時からの
『キラメキの発想』に出演した場合
その週の水曜配信は、お休みします



プレミア公開です。チャット欄へのコメントをお待ちしています。私も参加していることが多いです!

専用ページ <https://www.panrolling.com/tv/opctv.html#/>